

県産バイオマスを利用したバイオマス材料の作製

利用事例：セルロース混合可塑化成形装置を用いて身近なバイオマス材料を作りたい

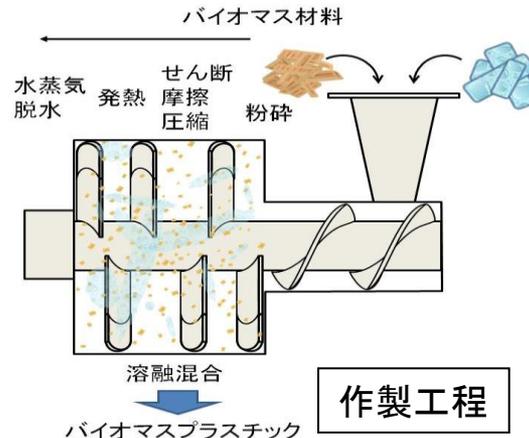


富山県ものづくり研究開発センターのセルロース混合可塑化成形装置の処理能力は、1バッチ0.5kg(40kg/h)です。

本装置はバイオマス中のセルロースと各種プラスチックを、回転羽根で高速で混合することにより可塑化・アロイ化します。本実験では、富山県で身近なもみがらや木粉、竹、コーヒー豆、昆布をポリプロピレンやポリ乳酸と複合化して、環境に対応したバイオマス系プラスチックの開発を行いました。



実験例



使用装置：セルロース混合可塑化成形装置（株式会社日本成工：MF式熔融混合機MF-1000）